

小麦程度統一会



米穀部は7月12日、北米穀センターで小麦の初検査・農産物検査員育成研修生の現場実習を兼ねた程度統一会を開きました。小麦の品質程度を確認し、小麦「ゆきちから」を検査しました。

容積重・形質・水分などを検査。形質では小麦を一粒ずつ確認し、充実具合などを見極めて等級を判断し、全量が1等に格付されました。

J Aでは51人が農産物検査員として登録されており、検査員が小麦、米、大豆の形質などを検査し、等級を付けて出荷します。



検査をする検査員



水田上を飛行する無人ヘリコプター

無人ヘリコプター薬剤散布作業



7月下旬から、各地区で無人ヘリコプターによる水稲病害虫防除が始まり、いもち病防除とカメムシ防除の薬剤散布を行いました。

尾上支店管内のJ A無人ヘリコプター受託組合（工藤憲児組合長）は、尾上支店管内を中心に田舎館支店、黒石支店管内から約1338haの防除を請け負い、7月上旬から8月上旬にかけて散布作業を行い、8月中旬には2回目の散布を行いました。

家の光使った料理教室



女性部みなみ支部（中山静子支部長）は7月25日、本店で家の光を活用した料理教室を開き、部員8人が参加しました。

家の光に掲載されたレシピを見ながら「鮭のおにぎらず」や「インゲンとベーコンのかきたまスープ」などを調理しました。

参加者は「夏にぴったりの料理で、自分の畑で収穫した野菜でも作れそう。鮭のおにぎらずは簡単に作れるので、子どもも楽しめそう」と話しました。



調理を行う参加者



完成した料理